

保護者、学校関係者、地域の皆さまへ

「児童虐待の根絶に向けて ～地域全体で子供たちを見守り育てるために～」

○ 11月は児童虐待防止推進月間です。

子供たちへの虐待は、児童相談所の相談対応件数(速報値)が過去最多を更新、高止まりしており、極めて深刻な状況です。児童虐待により子供たちが傷つき、亡くなるようなことは、何としても無くさなければなりません。

○ 虐待は、しつけとは違い、子供の成長と人格形成に深刻な影響を与えます。

殴る、蹴るといった目に見える身体的虐待だけではなく、食事を与えない、放置する等のネグレクト、言葉によっておどかさず、無視する等の心理的虐待、性的虐待など様々な形で行われます。

○ 保護者の皆さま、親子の未来を守るため、大切なお子さまの健やかな成長のため、「虐待はしない」と誓ってください。心に余裕がない時はストレスの解消など、皆さま自身が休むことも大切です。子育てに不安や悩みがある時には、一人で抱え込まずに身近な人に相談したり、自治体の相談窓口等を頼ったりしてください。

○ 学校関係者の皆さま、日頃から子供たちと接する中で、児童虐待と疑われる事案に気付いた際は、速やかにチームとして対応し、市町村や児童相談所に通告するとともに、関係機関と連携して対応してください。

○ 地域の皆さま、是非、子供や保護者の様子に関心を持って見守ってください。みなさまの声かけや日頃からのつながりが、保護者の不安軽減にもつながります。そして、子供の衣服や体がいつも汚れている、保護者が子育てに無関心であるなど虐待が疑われるサインに気付いた際は、ためらわずに最寄りの児童相談所に繋がる全国共通ダイヤル「189」(“いちはやく”)に相談・通告してください。

○ 児童虐待の防止には、家庭・学校・地域が一丸となって子供たちを見守り、育てる体制づくりが重要です。文部科学省としても、関係省庁とともに取組を推進してまいります。皆さまの御理解と御協力を心からお願い申し上げます。

令和4年11月

文部科学大臣 永岡 桂子

全国すべての^{こども}子供たちへ

○ 毎日^{まいにちげんき}元気に^す過ごせていますか。

^{おとな}大人から^{たたか}たたかれたり、^{むし}無視されたり、^{かな}悲しくて^{つらい}つらい時はありませんか。

あなたやあなたのお友達^{ともだち}が^{こま}困っていたら、^{ひとり}一人で^{なや}悩まず、

^{がっこう}学校の^{せんせい}先生や^{スクール}スクールカウンセラー、^{きんじよ}近所の^{ひと}の人など

^{まわ}周りの^{おとな}大人に^{そうだん}相談してください。

あなたの^{ちから}力になりたい^{おも}と思っている人は、たくさんいます。

^{ちか}近くに^{そうだん}相談できる人がいない、^{みつかる}見つかるのが^{こわ}怖くて^{そうだん}相談できない、

そんな時は^{とき}電話や^{でんわ}SNSで^{そうだん}相談できます。ためらわずに^{そうだん}相談してください。

^{もんぶ}文部科学省は、^{みなさん}みなさんが^{すこ}健やかに^{せいちよう}成長し、

^{まいにち}毎日^{たの}楽しく^す過ごせるよう^{おうえん}応援しています。

【^{そうだん}SOS相談窓口 ^{ここ}ここからあなたの^{はなし}話を^き聞かせてください】

https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/seitoshidou/06112210.htm



れいわ ^{ねん}年 ^{がつ}11月

^{もんぶ}文部科学大臣 永岡 桂子